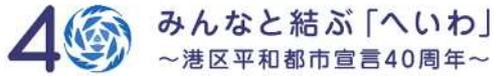


令和7年5月20日



5月25日（日曜）、表参道で

「山の手空襲 80 周年献花」を実施します

戦時中、港区（当時は芝区・麻布区・赤坂区）は何度も空襲を受けています。昭和20（1945）年3月10日の下町を中心とした東京大空襲でも大きな被害を受けましたが、山の手を標的にした5月24日、25～26日の山の手大空襲では、徹底した爆撃により、芝区の一部、麻布区・赤坂区の大半が焼け野原となりました。5月25日夜からの空襲は特に被害が大きく、表参道周辺でも多くの方が亡くなりました。

こうした地域における戦争の記憶を風化させることなく、若い世代をはじめとする幅広い世代に伝え、平和についてそれぞれが考える機会とするため、区は、令和2年度から献花の呼びかけを行っている市民団体「山の手空襲を語りつぐ集い実行委員会」と共催で、表参道にて献花を実施します。

山の手空襲 80 周年献花 概要

日時 令和7年5月25日（日曜） 午後1時30分から3時30分まで

場所 表参道交差点 区政60周年記念碑「和をのぞむ」前
（港区北青山三丁目6番12先（地番））

共催 山の手空襲を語りつぐ集い実行委員会・港区

区政60周年記念碑「和をのぞむ」は、区が港区政60周年に当たる平成19（2007）年に、戦災で亡くなった人々を悼み、平和への願いを込めて建立しました。



「和をのぞむ」碑